



〒981-8006

仙台市泉区黒松 1-33-40

TEL 022-234-5346

FAX 022-219-2038

黒松市民センターだより

<https://www.sendai-shimincenter.jp/izumi/kuromatsu/index.html>



講座のお知らせ



皆さんがもっている「MOTTAINAI(もったいない)」の生活習慣をSDGs行動へと思いを広めていくイベントです。

その合言葉は・・・ひとりのMOTTAINAI みんなのSDGs

本を廃棄する。裁断して紙資源として再利用する...ではなく、本の価値を尊重して、新たなオーナーのもとで利用してもらう...はSDGs行動の12番目「つくる責任 つかう責任」になります

子育て中の保護者向け

幼児・園児・低学年児童

本の譲渡会



子育て中の保護者とお子様だけでなく、どなたでもご来場いただけます

開催日:5月14日(日) 午前の部10時~12時

午後の部12時30分~15時

親子での来場大歓迎

譲渡本の主なもの:絵本、児童書、図鑑、育児書、クラフト本、小説、月刊児童絵本、児童雑誌など

汚れや日焼けなどご了承ください
但し、お持ち帰りの冊数制限が掛かるコーナーがあります

並行開催イベント:本の読み聞かせ(読み聞かせ団体有志の皆さん)

10:30~11:00 絵本の読み聞かせの場を創ってイベントを実施します

折り紙体験(クラフトMのみなさん)

G's くん折り紙 の作り方を教えていただけます

※但し、実施時間は重ならないように配慮します。



3月の寄贈本の受付の会では、呼びかけに賛同いただき、皆様より1000冊もの本の寄贈をいただきました。ありがとうございました。



2023

黒松市民センター・黒松児童館まつり

参加者募集

「作品展示」「ステージ発表」の2部門で、参加者を募集します。参加条件といたしまして、3回の実行委員会と、設営・片付けにご出席いただける方とします。

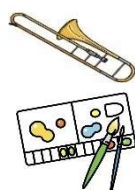
●日時:9月23日(土)

9:30~13:00(予定)

●会場:黒松市民センター

●申込:6月10日(土)まで
黒松市民センター窓口に
申込用紙があります。

詳しくは、黒松市民センター窓口まで



「黒松寿大学開講式」のお知らせ

■日時:5月18日(木)

10:00~11:30

(受付開始:9時40分~)



■場所:黒松市民センター ホール

■内容:①オリエンテーション

②記念コンサート

「アンサンブル・プティフル」

電子ピアノ、フルート、チェロによる演奏

③顔合わせ、班長選出

■備考:上履き持参でお越しく下さい

今年度の受講生の皆様には、「はがき」でご案内を差し上げております。



「封内風土記」の龍門山洞雲寺の項に、「傳云此地上古有夫婦異人。男號大菅谷。婦號佐賀野。共紅顏不老。不知經幾年。常語五六百年以前之事」と、この地への建立の経緯が記述されている。現代語訳にすると、「言い伝えによれば、この地には古来より異人夫婦があった。夫は大菅谷、妻は佐賀野と言った。二人とも紅顔で美しく、老いることがなかった。どのくらい年月を経たかは分からないが、常に五、六百年以前の事だと語られてきた」。慶雲年間（704～707）文武帝のとき、定恵と名乗る坊さまが、仏寺建立の地を求めて大菅谷夫婦の所にやって来た。「この地は、山々が高く、溪谷は深く、泉の水は甘く清らかだった。土地がよく肥え、草木が生い茂り、九十九の峰に囲まれていた」と記述されている。「傳云」とあるように、この話を言い伝えて来た人たちは、暮らしや文化が全く違った人たちを異人と呼んでいたことが分かる。西暦700年よりも500年以上も前、つまり西暦200年頃から、この地で豊かに暮らしていた人たちがいたと語られている。大和朝廷からは蝦夷と呼ばれていた人々とは、この地に先住していた縄文人ではなかったのだろうか。



「重興洞雲寺石碑」は、石の四面に縁起が記述されている。前半部分は「封内風土記」とほぼ同内容である。

「封内風土記」では、「定恵が、自分の持っている錫杖で丸く円を描くから、その円が及んだ範囲を貸してもらいたいと願う。大菅谷は、それくらいならと約束をする。定恵が錫杖で円を描くと、不思議なことにその円は夫婦の住まいの地からどんどん広がり、九十九の峰すべてに広がった。夫婦は、約束を違えず、すべてを定恵に譲り、西に20里ほど離れた、根白石山中の巖谷に移り住んだ。人々は、そこを『どうどころ』と呼び、今でもそこに異人を見かけることがある」と記述されている。また、「重興洞雲寺石碑」には、「定恵はこの地を分けて欲しいと夫婦に頼む。夫婦は決してうんと言わない。定恵がどうしても欲しいと何度も頼むので、根負けした大菅谷は仕方なく、山谷の山下某の所領地、その溪谷数十里の土地を定恵にさしだした」と記述されている。これらの記述を比較してみると、都からこの地に仏教を広めようとやって来た僧定恵が、この地を譲りたくない先住の異人夫婦から、無理やりこの地を手に入れたのではないかと推察できる。

ときの朝廷が、蝦夷と呼んだ異人の地に眠る鉄や金の素材を求め、征夷大將軍坂上田村麻呂を遣わし、異人たちと戦い、陸奥国の紫波までをその手中に治めた。その事実を地域の人びとは、このような語りで言い伝えてきたのではないだろうか。

七北田宿歴史研究会 加藤恵子

参考資料：「封内風土記」宝暦13<1763>年仙台藩主伊達重村の命で田村希文が編纂の巻之3郡邑125頁に掲載
：「重興洞雲寺石碑」延喜2<1747>年輪王寺21世詮たつ書。泉市誌下巻366頁に掲載
(龍門山洞雲寺：仙台市泉区山の寺にある曹洞宗の寺院)

職員異動のお知らせ

★お世話になりました★

川口 裕美子（退職）

☆よろしくお願ひします☆

木村 あつ子（北山市民センターより）

休館日

1日（月）、8日（月）、15日（月）、22日（月）、29日（月）

ホール個人利用日

6日（土）、20日（土）、28日（日） 14日は本の譲渡会開催です

※各13：00～16：30（2時間単位）

泉図書館 黒松分室 開館日

2日、5日、9日、12日、16日、19日、23日、26日、30日

開館時間：（火）（金）12：30～16：30

5月のご利用案内

